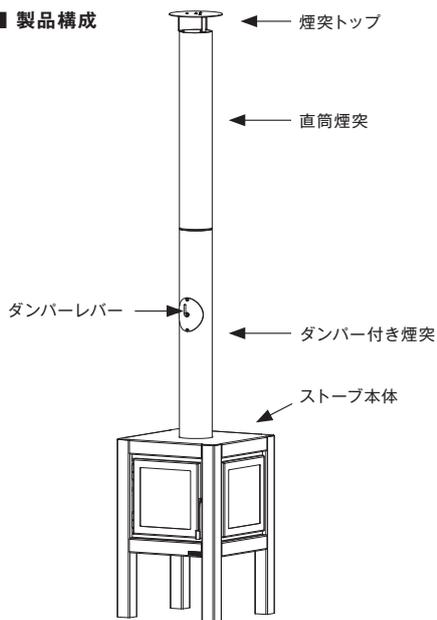
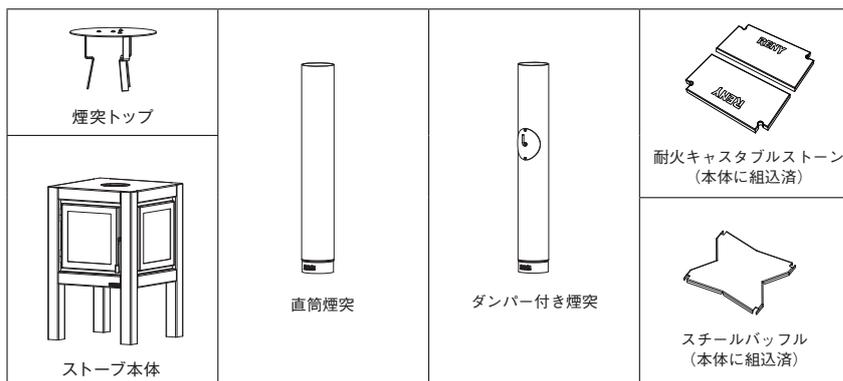


■ 製品構成



【本体組立て図】



■ 付属品



取扱説明書

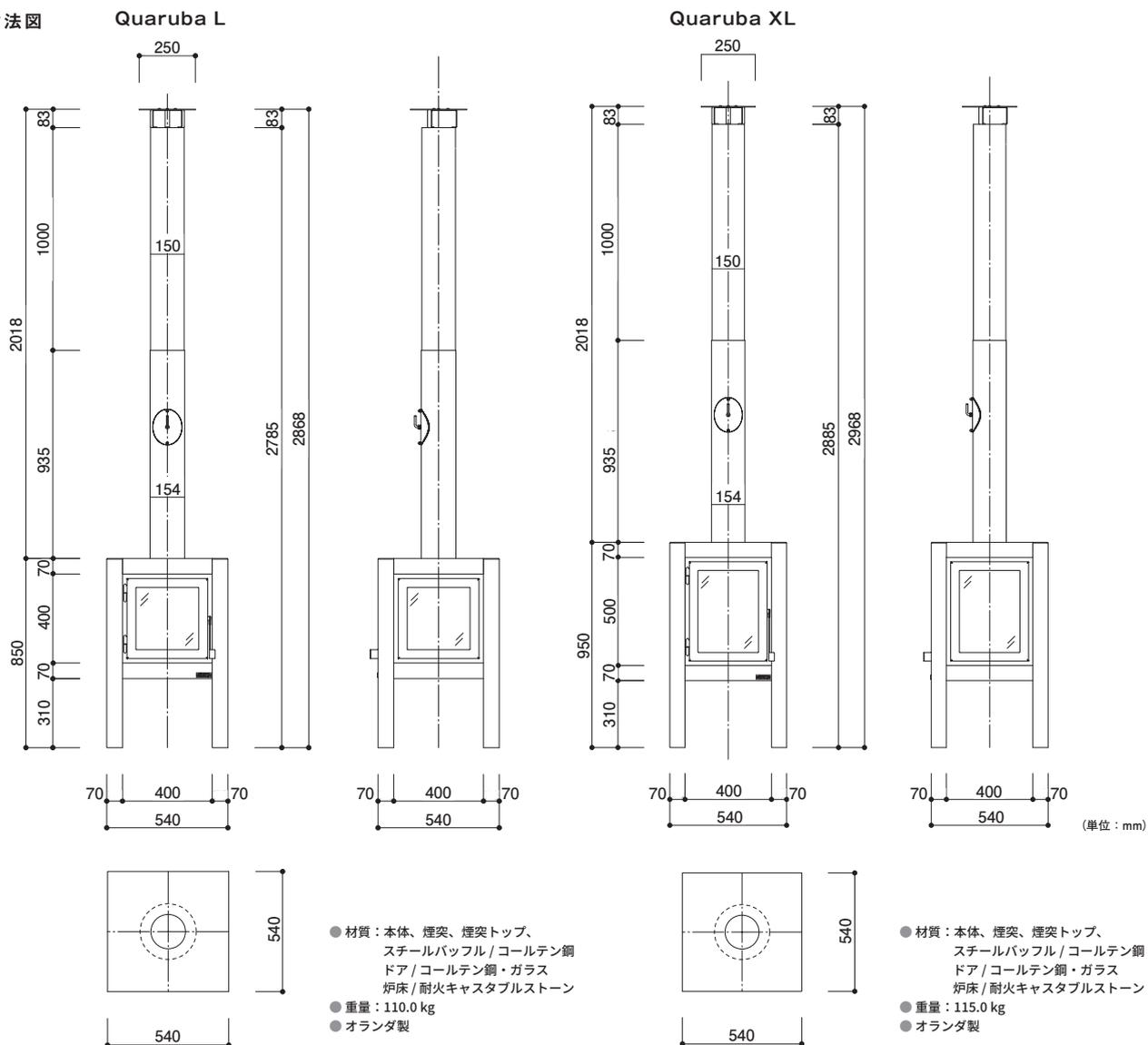


グローブ



耐熱グリス
(可動部メンテナンス用)

■ 寸法図



【設置と組立て】



注意

- 落下や転倒によるケガのおそれがありますので必ず作業用グローブを着用の上、2人以上で作業を行ってください。
- 設置と組立て作業は近くに人がいない広く平らな場所で、脚立等をご用意して行ってください。
- 組立ての際、本製品の上に登って作業しないでください。転倒や破損の原因になります。
- お客様ご自身での据え付けや組立てがご不安な場合は、販売店、または専門業者に依頼してください。

1 Quaruba を据え付ける

水平器を用いてストーブ本体が水平になるように、脚部のレッグレベラーを調整して設置してください。

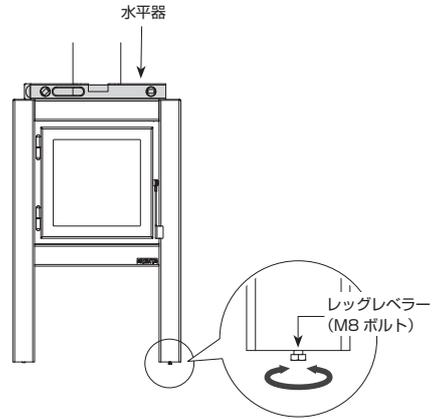
必要工具

13mmレンチ



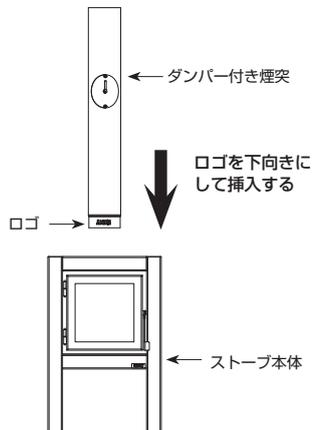
注意

地震等、万が一の避難時に妨げにならない位置に設置してください。



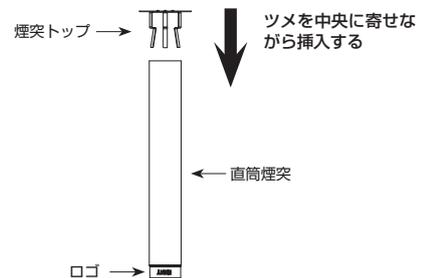
2 ダンパー付き煙突を取付ける

ダンパー付き煙突の「RENY」のロゴの入った部分を下向きにして、ストーブ本体に取付けます。



3 直筒煙突に煙突トップを取付ける

煙突トップの先の3本のツメを中央に寄せながら直筒煙突に差し込みます。



4 直筒煙突をダンパー付き煙突に取付ける

3で煙突トップを取付けた直筒煙突をダンパー付き煙突に差し込みます。



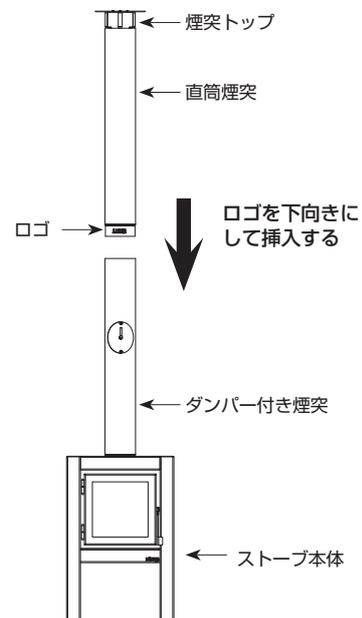
注意

煙突設置の高所作業時、ケガをしないよう十分注意してください。



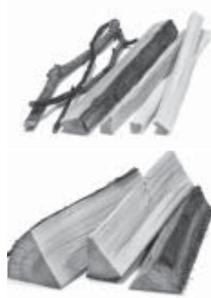
指示

組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立てを行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。



【燃料について】

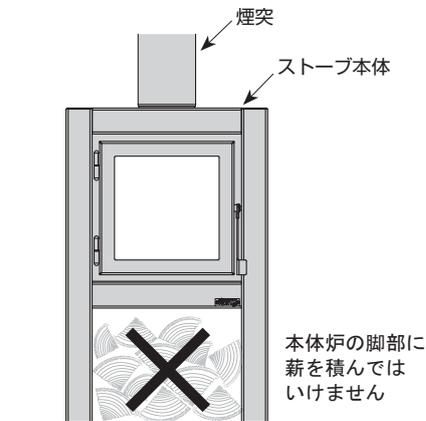
- 指定燃料：本製品の燃料は、良く乾燥した長さ 40 cm以内の自然の薪をご用意ください。



焚き付け用の細い薪
または小枝

燃焼用の薪
太さ：5～10cm程度

薪の種類はマツ、スギ、ヒノキなどの針葉樹と、ナラ、クヌギなどの広葉樹に分かれます。針葉樹は着火性に優れていますが、火の粉が飛散しやすく火持ちが良くありません。広葉樹はその逆の性質を持っています。



自然薪以外の燃料の使用禁止

禁止

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。オガライト等の人工薪、石炭、練炭等は過度の燃焼の原因となり危険です。また化学物質や塩分等が含まれる木材は有害物質が発生し健康を害するほか、破損の原因となります。



ガソリン厳禁

禁止

ガソリン、軽油、灯油、またはオイルなどの引火しやすい油は絶対に使用しないでください。火災の原因となります。



本体脚部へ薪のストック禁止

禁止

ストーブからの輻射熱で発火のおそれがあるため、薪を本体脚部に積んではいけません。

【焚き方】



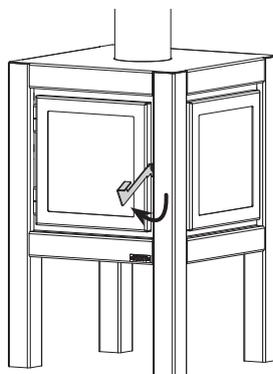
燃焼室ドアを開けたままの使用禁止

本書に指示のある場合を除いて、燃焼室ドアを開けたまま使用しないでください。また、ドアが閉まらないおそれのある長い(太い)薪はくべないでください。煙や火の粉が炉外に漏れたり、火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります。

1 ドアを開ける

ドアレバーを引いてドアを開けてください。

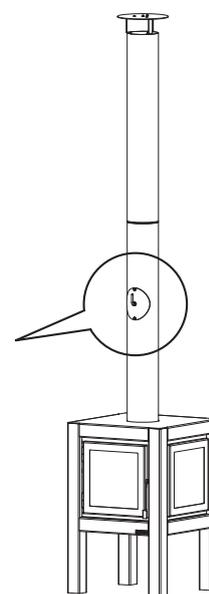
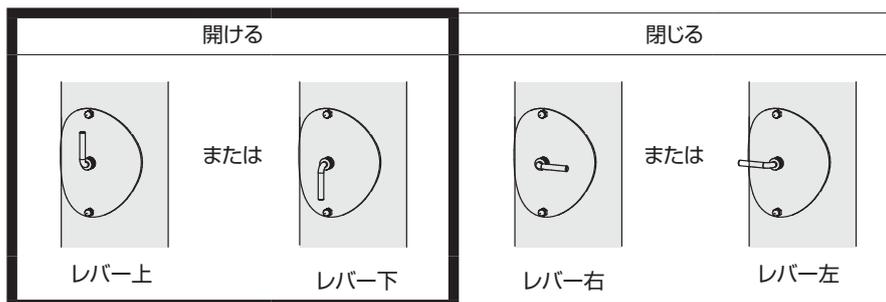
ドアレバーを持ち上げて手前に引く



2 煙突ダンパーを開ける

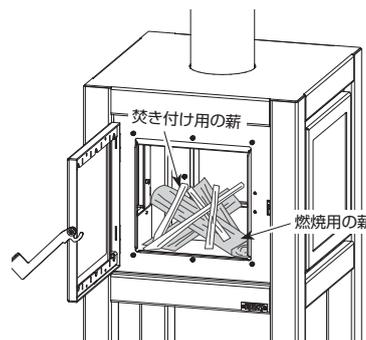
ダンパーレバーを動かし、図の位置にして煙突ダンパーを開けてください。

煙突ダンパーを開けないと正しく燃焼しません。



3 薪と焚き付けをセットする

炉内に2~3本の燃焼用の薪(やや細め)を図のようにクロスさせて置き、さらに小枝や細く割った針葉樹などの焚き付け用の薪を置きます。その際、薪と薪の間に隙間をあけて、空気の通り道を設けて炉の中央にセットしてください。



4 着火剤を使って着火する

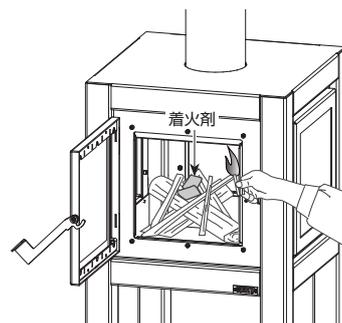
固形着火剤を3でセットした焚き付けの上に置いて着火します。



ファイヤースターター M6229

小分けになった袋にそのまま着火することができる手軽で便利な着火剤。たっぷり使える分量。

- 燃焼時間: 約6~8分(1個)
- 着火剤重量: 1箱約700g入り(約100個)



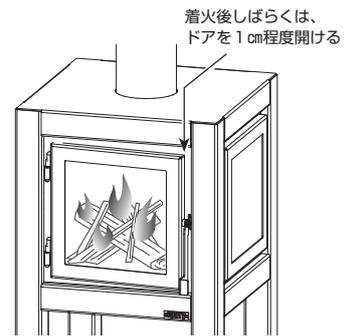
着火剤は固形着火剤を使用し、ガソリンや灯油などは絶対に使用しないでください。

【焚き方】

5 ドアを開けて炎を観察後、ロックする

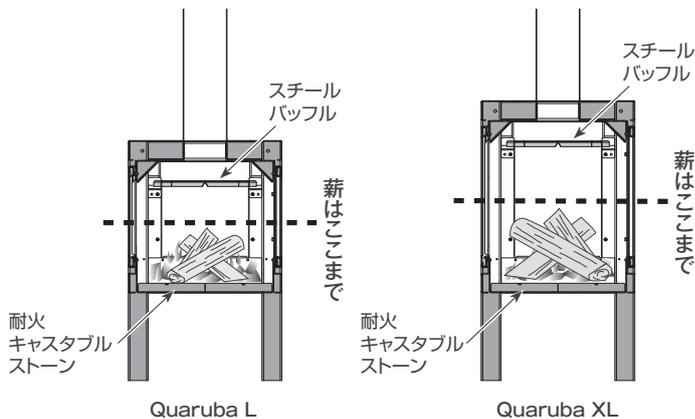
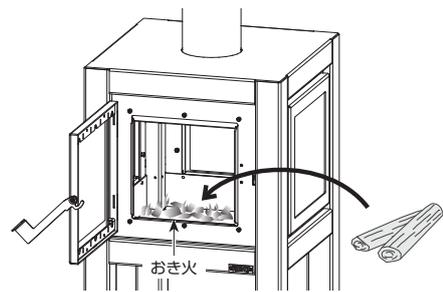
焚き付けへの着火を確認した後、燃焼室ドアは完全に閉めず、1cm程度隙間をあけて炎を観察します。

次に薪に火が移り炎の勢いが十分立ち上がったことを確認してから、燃焼室ドアを閉めロックします。



6 赤いおきになったら、中～太い薪を追加する

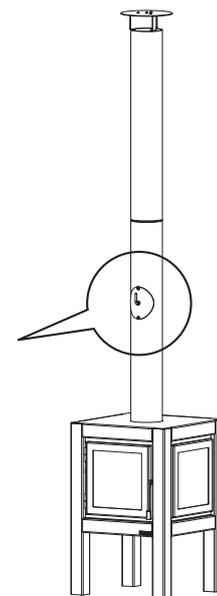
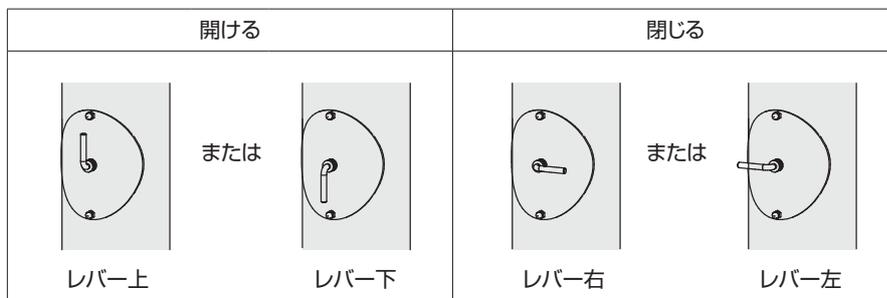
燃焼室内の薪が赤いおきの状態になったら、薪を追加します。空気の通りが良くなるように薪と薪の間に隙間をあけて、中～太い薪をガラスに当たらないよう炉の中央付近に2～3本足します。薪を足した後、燃焼室ドアを閉めロックしてください。



禁止 ストープの炉のガラスの半分以上、薪を入れないください。ストーブが過剰燃焼となり、破損の原因となります。

7 煙突ダンパーの操作

安定した燃焼のために、煙突ダンパーを開閉することで空気の流れを調整します。また、薪の種類によって、爆ぜて火の粉が煙突トップより舞う時は、煙突ダンパーを閉じると火の粉の飛散を防ぐことができます。



【消火】

本製品は、ガスや石油ストーブのように瞬時のうちに消火することはできません。薪の投入をやめ、炎の勢いが徐々に弱まり消火した時、またはストーブ炉内の薪が完全に燃え尽きた時が消火を意味します。

■ 製品構成



【本体組立て図】

<p>ストーブ本体</p>	<p>煙突トップ</p>	<p>ダンパー付き煙突</p>	<p>直筒煙突</p>
<p>専用ピール</p>	<p>リア用耐火キャストストーン × 2</p>	<p>オープンストーン × 2</p>	<p>ボトム用耐火キャストストーン (本体に組込済) × 2</p>

■ 付属品



取扱説明書

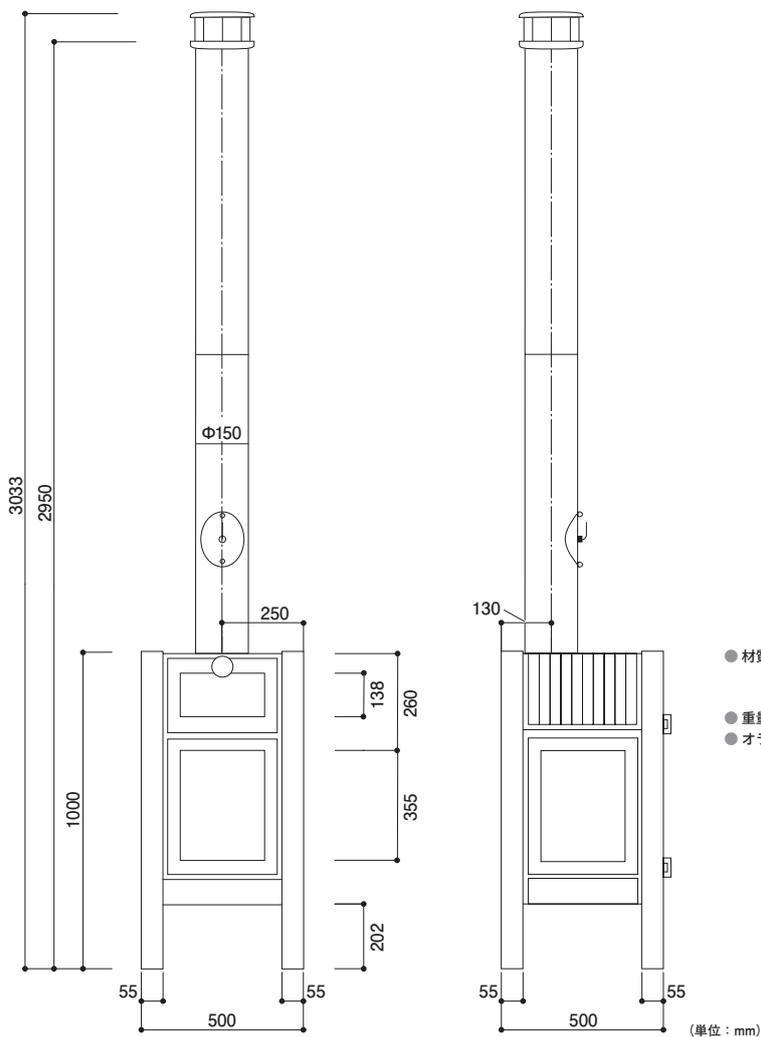


グローブ



耐熱グリス (可動部メンテナンス用)

■ 寸法図



- 材質：本体、煙突、煙突トップ、スチールパッフル / コールテン銅
- ドア / コールテン銅・ガラス
- 重量：175.0 kg
- オランダ製

(単位：mm)

【設置と組立て】



注意

- 落下や転倒によるケガのおそれがありますので必ず作業用グローブを着用の上、2人以上で作業を行ってください。
- 設置と組立て作業は近くに人がいない広く平らな場所で、脚立等をご用意して行ってください。
- 組立ての際、本製品の上に登って作業しないでください。転倒や破損の原因になります。
- お客様ご自身での据え付けや組立てがご不安な場合は、販売店、または専門業者に依頼してください。

1 Quercus をパレットから外す

Quercus のコーチスクリューボルトを足元のパレットから外す。

必要工具

13mmレンチ



注意

地震等、万が一の避難時に妨げにならない位置に設置してください。

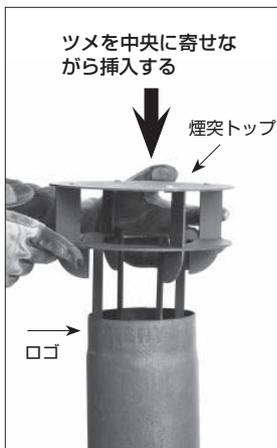
2 ダンパー付き煙突を取付ける

ダンパー付き煙突の『RENY』のロゴの入った部分を上向きにして、ストーブ本体に取付けます。



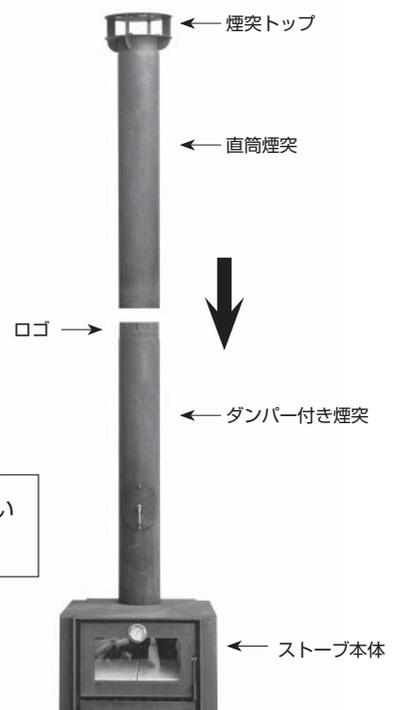
3 直筒煙突に煙突トップを取付ける

直筒煙突の『RENY』のロゴの入った部分を上向きにして、煙突トップの先の3本のツメを中央に寄せながら直筒煙突に差し込みます。



4 煙突を取付ける

3箇所切り込みが入っている方を下向きにして、ストーブ本体に差し込み、右に回して固定します。入りにくい場合は、ストーブの後ろの穴からボルトを調整します。



指示

組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立てを行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。

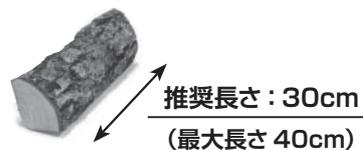


注意

煙突設置の高所作業時、ケガをしないよう十分注意してください。

【燃料について】

- 指定燃料：本製品の燃料は、良く乾燥した長さ30cm以内の自然の薪をご用意ください。



焚き付け用の細い薪
または小枝

燃焼用の薪
太さ：5～10cm程度

薪の種類はマツ、スギ、ヒノキなどの針葉樹と、ナラ、クヌギなどの広葉樹に分かれます。針葉樹は着火性に優れていますが、火の粉が飛散しやすく火持ちが良くありません。広葉樹はその逆の性質を持っています。



本体炉の脚部に薪を積ん
ではいけません



禁止

自然薪以外の燃料の使用禁止

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。
オガライト等の人工薪、石炭、練炭等は過度の燃焼の原因となり危険です。
また化学物質や塩分等が含まれる木材は有害物質が発生し健康を害するほか、破損の原因となります。



禁止

ガソリン厳禁

ガソリン、軽油、灯油、またはオイルなどの引火しやすい油は絶対に使用しないでください。火災の原因となります。



禁止

本体脚部へ薪のストック禁止

ストーブからの輻射熱で発火のおそれがあるため、薪を本体脚部に積んではいけません。

【焚き方】



燃焼室ドアを開けたままの使用禁止

本書に指示のある場合を除いて、燃焼室ドアを開けたまま使用しないでください。また、ドアが閉まらないおそれのある長い(太い)薪はくべないでください。煙や火の粉が炉外に漏れたり、火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります。

1 ドアを開ける

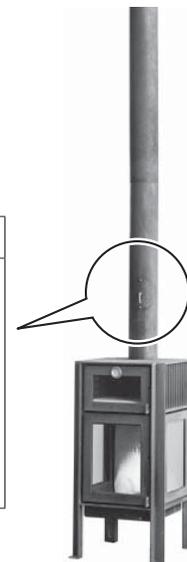
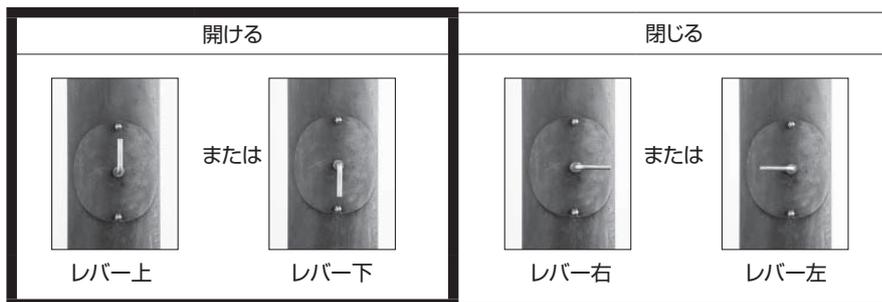
ドアレバーを引いてドアを開けてください。



ドアレバーを持ち上げて手前に引く

2 煙突ダンパーを開ける

ダンパーレバーを動かし、図の位置にして煙突ダンパーを開けてください。煙突ダンパーを開けないと正しく燃焼しません。



3 薪と焚き付けをセットする

炉内に8~12本の燃焼用の薪(やや細め)をクロスさせて置き、さらに小枝や細く割った針葉樹などの焚き付け用の薪を置きます。(写真参照) その際、薪と薪の間に隙間をあけて、空気の通り道を設けて炉の中央にセットしてください。



4 着火剤を使って着火する

固形着火剤を③でセットした焚き付けの上に置いて着火します。



ファイヤースターター M6229

小分けになった袋にそのまま着火することができる手軽で便利な着火剤。たっぷり使える分量。

- 燃焼時間: 約6~8分(1個)
- 着火剤重量: 1箱約700g入り(約100個)



着火剤は固形着火剤を使用し、ガソリンや灯油などは絶対に使用しないでください。

【焚き方】

5 ドアを開けて炎を観察後、ロックする

焚き付けへの着火を確認した後、燃焼室ドアは完全に閉めず、1cm程度隙間をあけて炎を観察します。

次に薪に火が移り炎の勢いが十分立ち上がったことを確認してから、燃焼室ドアを閉めロックします。



着火後しばらくは、
ドアを1cm程度開ける

6 赤いおきになったら、中〜太い薪を追加する

燃焼室内の薪が赤いおきの状態になったら、薪を追加します。空気の通りが良くなるように薪と薪の間に隙間をあけて、中〜太い薪をガラスに当たらないよう炉の中央付近に2〜3本足します。薪を足した後、燃焼室ドアを閉めロックしてください。



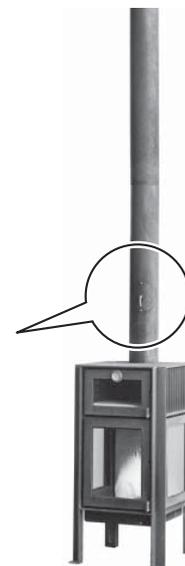
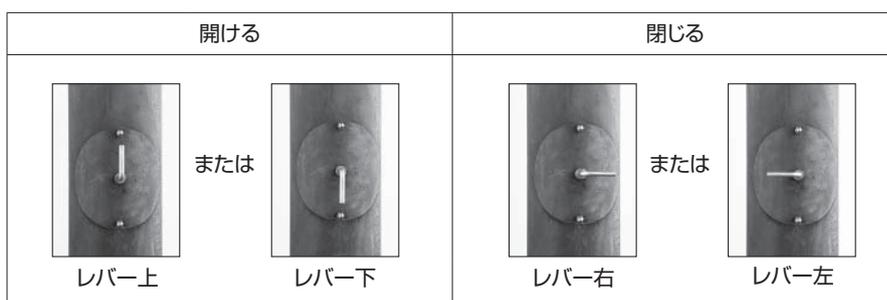
薪はここまで

禁止 ストープの炉のガラスの半分以上、薪を入れしないでください。ストーブが過剰燃焼となり、破損の原因となります。

注意 薪のサイズ推奨 30cm(最大 40cm)。長い薪の場合、崩れてガラスに当たらないようご注意ください。

7 煙突ダンパーの操作

安定した燃焼のために、煙突ダンパーを開閉することで空気の流れを調整します。また、薪の種類によって、爆ぜて火の粉が煙突トップより舞う時は、煙突ダンパーを閉じると火の粉の飛散を防ぐことができます。



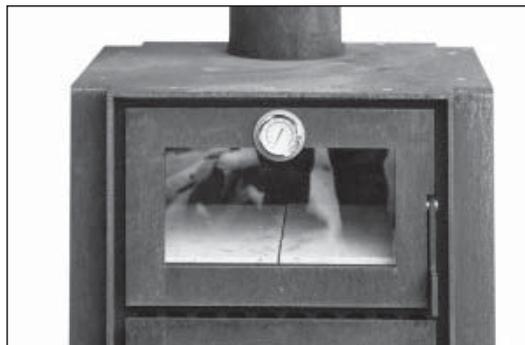
【消火】

本製品は、ガスや石油ストーブのように瞬時のうちに消火することはできません。薪の投入をやめ、炎の勢いが徐々に弱まり消火した時、またはストーブ炉内の薪が完全に燃え尽きた時が消火を意味します。

【オーブンの使用方法】

温度の確認

オーブンドアに取付けてある温度計を確認します。
温度計の温度と炉内の温度には差があります。目安としてご使用ください。
【補足】オーブン内の温度は、上下、前後、左右で異なります。



オーブンドアの開閉

ハンドルを持ち上げてロックを解除した後オーブンドアを開けます。



注意

オーブンドア、オーブンストーンなど、ご使用中は熱くなりますので十分ご注意ください。



調理

● オーブン内が 180℃に達するまでの時間は、設置の状況や燃料、焚き方等により異なりますが、およそ 60 分です。

【補足】吹きこぼれや油の飛び散りなどに備え、オーブンストーンの上にベーキングトレイやアルミホイルなどを敷いておくと、後のお手入れが楽になります。

オーブン内が目的の温度になったら、容器等を置き調理を行ってください。

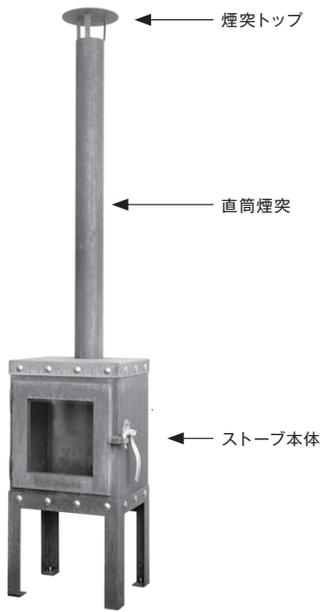
料理が仕上がるまで、必要に応じて薪の追加やダンパー調整などで温度の調節を行ってください。

ある程度燃焼室で薪を燃やしてオーブンを温めた後、ダンパーを調節することで燃焼スピードがゆるやかになり、温度を保つことが可能になります。

ピザの出し入れには付属の専用ピールをご使用ください。



■ 製品構成



【本体組立て図】



■ 付属品



取扱説明書

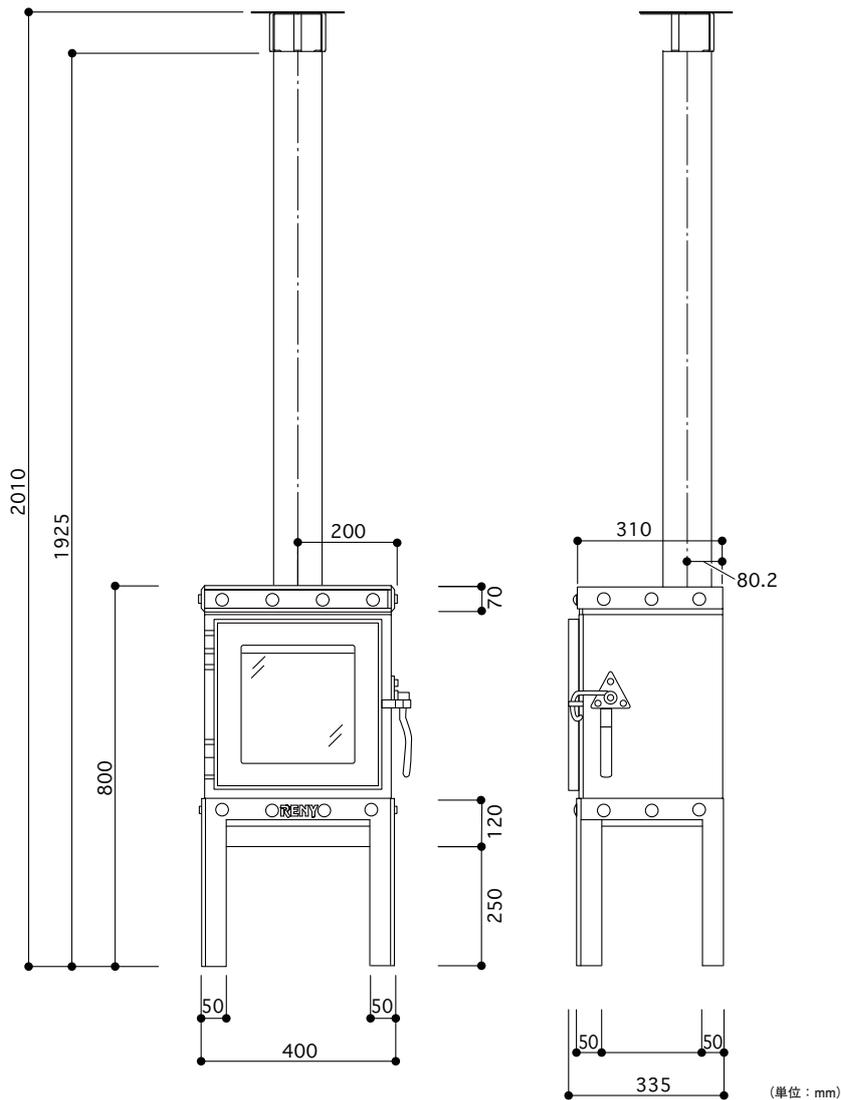


グローブ



耐熱グリス
(可動部メンテナンス用)

■ 寸法図



- 材質: 本体、煙突、煙突トップ / コールテン鋼
ドア / コールテン鋼・ガラス
- 重量: 45.0 kg
- オランダ製

【設置と組立て】



- 落下や転倒によるケガのおそれがありますので必ず作業用グローブを着用の上、2人以上で作業を行ってください。
- 設置と組立て作業は近くに人がいない広く平らな場所で、脚立等をご用意して行ってください。
- 組立ての際、本製品の上に登って作業しないでください。転倒や破損の原因になります。
- お客様ご自身での据え付けや組立てがご不安な場合は、販売店、または専門業者に依頼してください。

1 Piquia を据え付ける

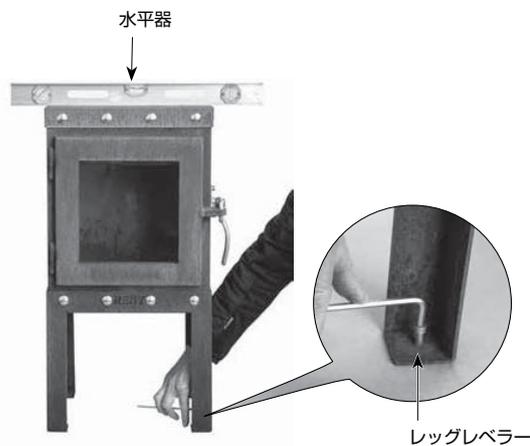
水平器を用いてストーブ本体が水平になるように、脚部のレッグレベラーを調整して設置してください。

必要工具

13mmレンチ

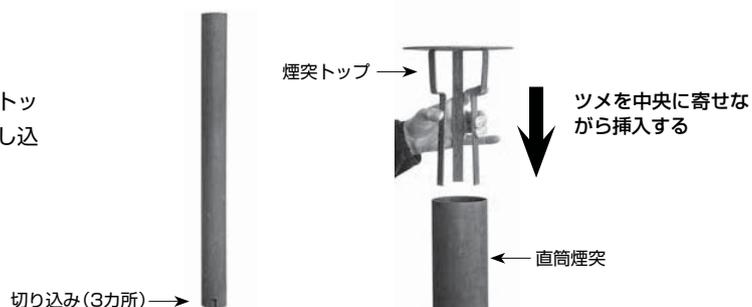


地震等、万が一の避難時に妨げにならない位置に設置してください。



2 直筒煙突に煙突トップを取付ける

3箇所切り込みが入っている方を下向きにして、煙突トップの先の3本のツメを中央に寄せながら直筒煙突に差し込みます。



3 煙突を取付ける

3箇所切り込みが入っている方を下向きにして、ストーブ本体に差し込み、反時計回りに固定します。入りにくい場合は、ストーブの後ろの穴からボルトを調整します。

右に回して固定



ボルトの調整



煙突設置の高所作業時、ケガをしないよう十分注意してください。



組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立てを行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。

4 灰受けを取付ける

写真のように灰受けを取付けます。



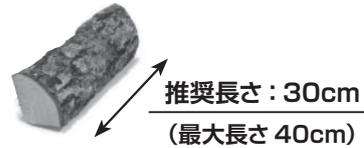
【燃料について】

- 指定燃料：本製品の燃料は、良く乾燥した長さ30cm以内の自然の薪をご用意ください。



焚き付け用の細い薪
または小枝

燃焼用の薪
太さ：5～10cm程度



薪の種類はマツ、スギ、ヒノキなどの針葉樹と、ナラ、クヌギなどの広葉樹に分かれます。針葉樹は着火性に優れていますが、火の粉が飛散しやすく火持ちが良くありません。広葉樹はその逆の性質を持っています。



本体炉の脚部に薪を積ん
ではいけません



自然薪以外の燃料の使用禁止

乾燥した自然の薪以外は燃やさないでください。
オガライト等の人工薪、石炭、練炭等は過度の燃焼の原因となり危険です。
また化学物質や塩分等が含まれる木材は有害物質が発生し健康を害するほか、破損の原因となります。



ガソリン厳禁

ガソリン、軽油、灯油、またはオイルなどの引火しやすい油は絶対に使用しないでください。火災の原因となります。



本体脚部へ薪のストック禁止

ストーブからの輻射熱で発火のおそれがあるため、薪を本体脚部に積んではいけません。

【焚き方】

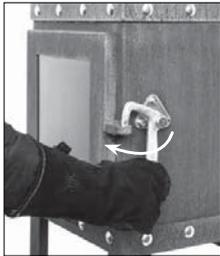


燃焼室ドアを開けたままの使用禁止

本書に指示のある場合を除いて、燃焼室ドアを開けたまま使用しないでください。また、ドアが閉まらないおそれのある長い(太い)薪はくべないでください。煙や火の粉が炉外に漏れたり、火がついた薪が転がり落ちるなどして火災の原因になります。

1 ドアを開ける

ドアレバーを引いてドアを開けてください。



ドアレバーを
持ち上げて
手前に引く

2 薪と焚き付けをセットする

炉内に8~12本の燃焼用の薪(やや細め)をクロスさせて置き、さらに小枝や細く割った針葉樹などの焚き付け用の薪を置きます。(写真参照) その際、薪と薪の間に隙間をあけて、空気の通り道を設けて炉の中央にセットしてください。



3 着火剤を使って着火する

固形着火剤を **2** でセットした焚き付けの上に置いて着火します。



ファイヤースターター **M6229**

小分けになった袋にそのまま着火することができる手軽で便利な着火剤。たっぷり使える分量。

- 燃焼時間: 約6~8分(1個)
- 着火剤重量: 1箱約700g入り(約100個)

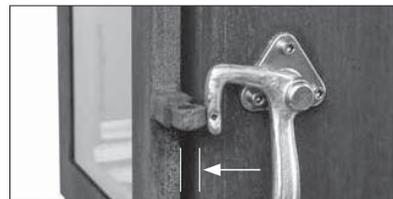


着火剤は固形着火剤を使用し、ガソリンや灯油などは絶対に使用しないでください。

4 ドアを開けて炎を観察後、ロックする

焚き付けへの着火を確認した後、燃焼室ドアは完全に閉めず、1cm程度隙間をあけて炎を観察します。

次に薪に火が移り炎の勢いが十分立ち上がったことを確認してから、燃焼室ドアを閉めロックします。



着火後しばらくは、
ドアを1cm程度開ける

5 赤いおきになったら、中~太い薪を追加する

燃焼室内の薪が赤いおきの状態になったら、薪を追加します。空気の通りが良くなるように薪と薪の間に隙間をあけて、中~太い薪をガラスに当たらないよう炉の中央付近に2~3本足します。薪を足した後、燃焼室ドアを閉めロックしてください。

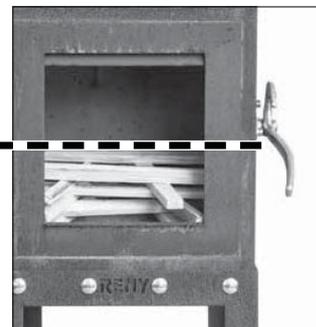


ストーブの炉のガラスの半分以上、薪を入れしないでください。ストーブが過剰燃焼となり、破損の原因となります。



薪のサイズ推奨30cm(最大40cm)。長い薪の場合、崩れてガラスに当たらないようご注意ください。

薪はここまで



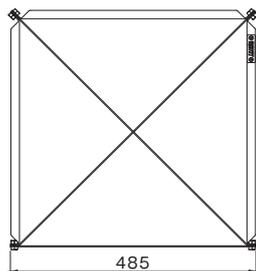
【消火】

本製品は、ガスや石油ストーブのように瞬時のうちに消火することはできません。

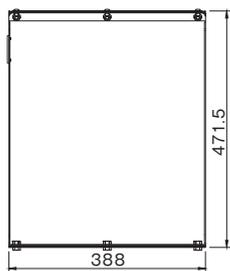
薪の投入をやめ、炎の勢いが徐々に弱まり消火した時、またはストーブ炉内の薪が完全に燃え尽きた時が消火を意味します。

【Wood Storage BloX (ブロックス)】

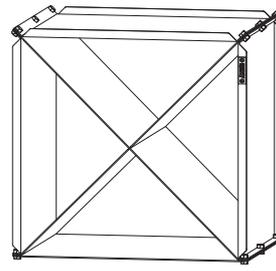
■ 寸法図



【正面図】



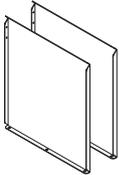
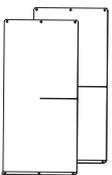
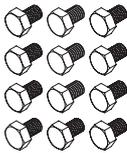
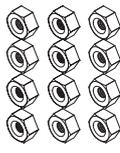
【側面図】



【BloX】

● 材質：コールテン鋼 ● 重量：21.0 kg ● オランダ製

■ 同梱物

 サイドプレート×2 (ロゴ取付け穴あり)	 クロスプレート×2	 トッププレート×1	 ロゴプレート×1	 六角ボルト M8-12mm × 12	 六角ナット M8 × 12
		 ボトムプレート×1	 六角穴付き皿ボルト M4-6mm × 2		

■ 設置と組立て

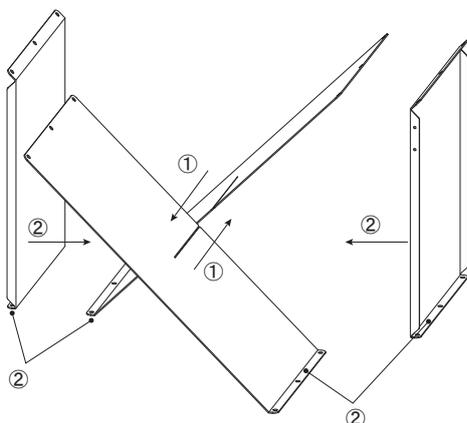


注意

落下や転倒によるけがのおそれがありますので、必ず作業用グローブを着用の上、2人以上で作業を行ってください。また設置と組立て作業は、近くに人がいない広く平らな場所で行ってください。

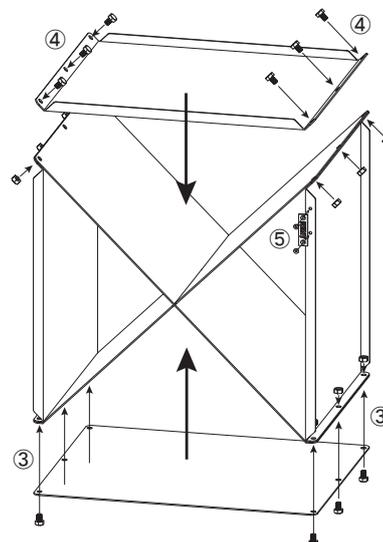
1 クロスプレートとサイドプレートの組付け

- ①クロスプレートの真ん中に入ったスリットを合わせながら組合わせる。
- ②サイドプレートの返しが90°になっている面とクロスプレートの返しが45°になっている面を合わせる。



2 トッププレートとロゴプレートの組付け、およびネジの取付け

- ③ボトムプレート、クロスプレート、サイドプレートを六角ボルト M8-12mmと六角ナット M8 を使って6箇所組付ける。
- ④トッププレート、クロスプレート、サイドプレートを六角ボルト M8-12mmと六角ナット M8 を使って6箇所組付ける。
- ⑤ロゴプレートを六角穴付き皿ボルト M4-6mm を使ってサイドプレートに取付ける。

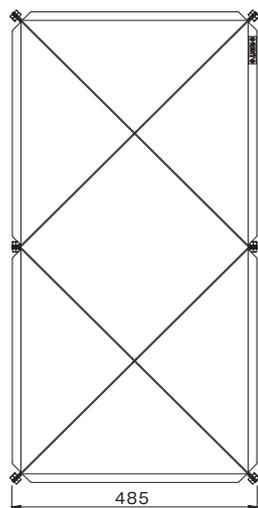


指示

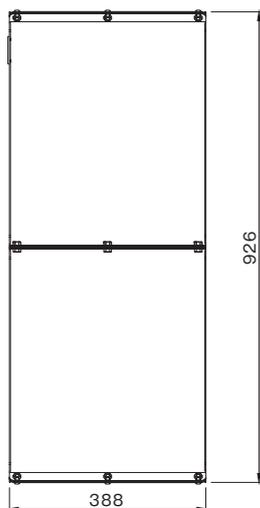
組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立てを行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。

[Wood Storage BloX X (ブロックスエックス)]

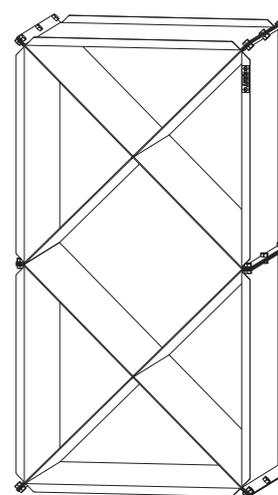
■ 寸法図



【正面図】



【側面図】



【BloX X】

● 材質：コールテン鋼 ● 重量：37.0 kg ● オランダ製

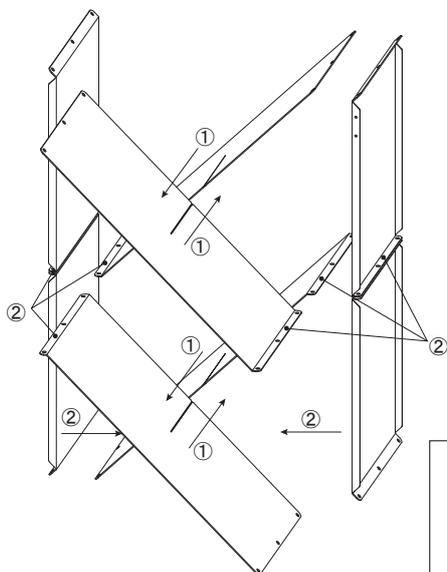
■ 同梱物

 サイドプレート×2 (ロゴ取付け穴あり)	 サイドプレート×2 (ロゴ取付け穴なし)	 クロスプレート×4	 トッププレート×2 ロゴプレート×2	 六角穴付き皿ボルト M4-6mm × 4	 六角ボルト M8-12mm × 12	 六角ナット M8 × 18
-----------------------------	-----------------------------	---------------	---------------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------

■ 設置と組立て

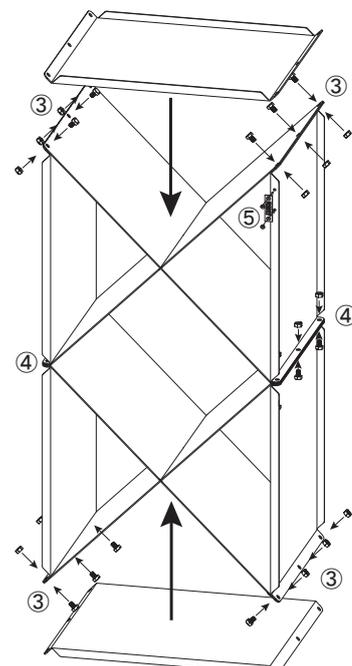
1 クロスプレートとサイドプレートの組付け

- ① クロスプレートの真ん中に入ったスリットを合わせながら組合わせる。
- ② サイドプレートの返しが90°になっている面とクロスプレートの返しが45°になっている面が中央になるよう合わせる。



2 トッププレートとロゴプレートの組付け、およびネジの取付け

- ③ 天地のトッププレート、クロスプレート、サイドプレートを六角ボルト M8-12mmと六角ナット M8 を使って 12箇所組付ける。
- ④ 中央部のクロスプレート、サイドプレートを六角ボルト M8-16mmと六角ナット M8 を使って6箇所組付ける。
- ⑤ ログプレートに六角穴付皿ボルト M4-6mm を使って、サイドプレートに取付ける。



指示

組立て後、本体のガタツキ、取付部品のゆるみ、外れ等の点検を必ず行い、必要に応じて調整や再設置、再組立てを行ってください。異常が認められる場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店へご連絡ください。